

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

栃木県佐野市 佐野市長病院

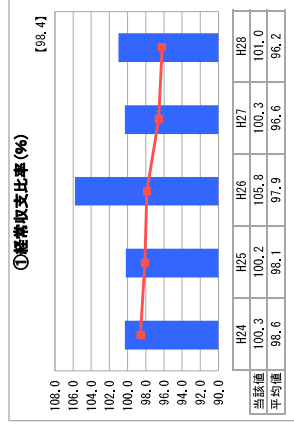
法人区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
法定用区分	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DP①対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	17	-	ド透I訓	救へ
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
120,437	15,925	非該当	7:1	

許可病床(一般)	許可病床(感染症)	許可病床(結核)
164	94	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	94	258
稼働病床(一般)	稼働病床(感染症)	稼働病床(一般+感染症)
112	94	206

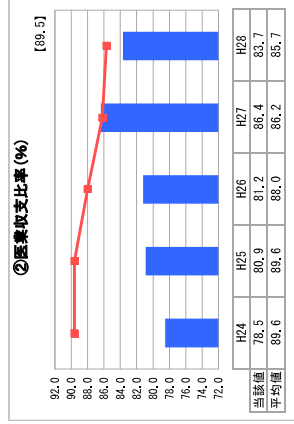
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…方…がん(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

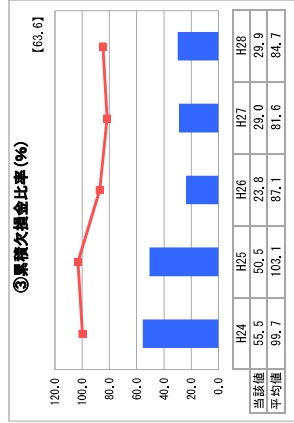
## 1. 経営の健全性・効率性



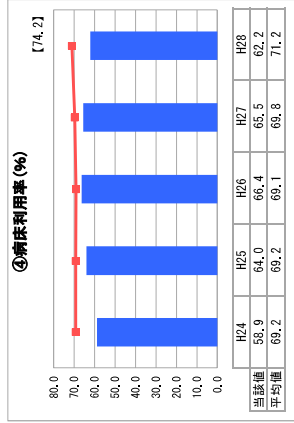
「経営損益」



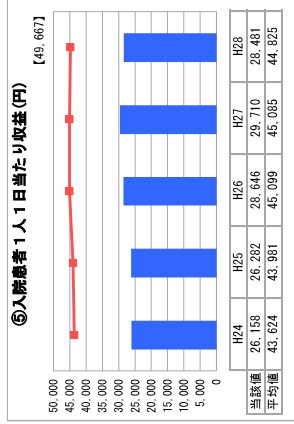
「医療損益」



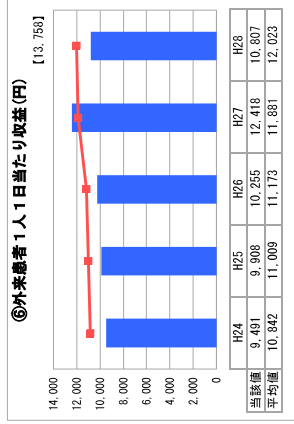
「累積欠損」



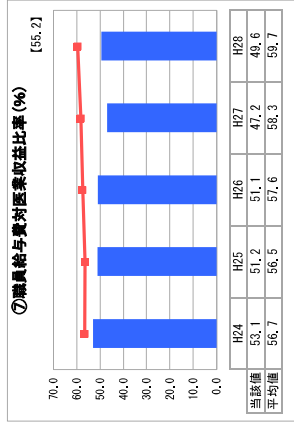
「施設の効率性」



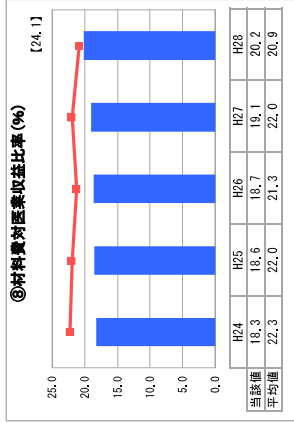
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

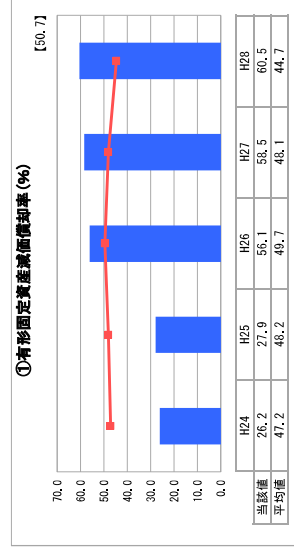


「費用の効率性①」

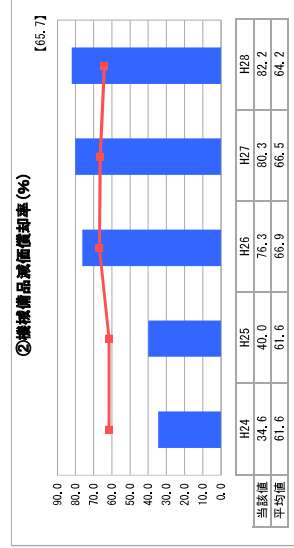


「費用の効率性②」

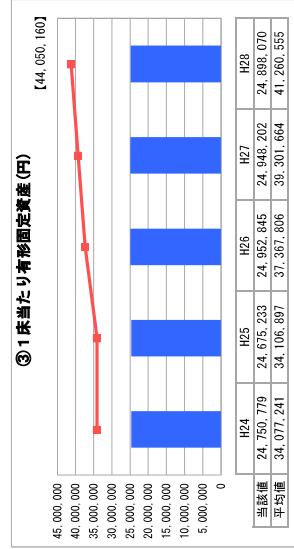
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

グラフ凡例

- 当該病院値 (当該値)
- 類似病院平均値 (平均値)

【】 平成28年度全国平均

## I 地域において担っている役割

総合的な診療科目を備えた地域の中枢病院として、県内にわたって地域に密着して地域医療を支えています。また、へき地医療拠点病院として市内5か所の国民診療所(へき地診療所(仮称))と2カ所連携センターに繋がっており、各種診療支援などを行っています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①医療収支比率は、100%を超える黒字となっているが、一般会計からの繰上によるものである。前年②医療収支比率は、平均値に近くなってきているが、前年③黒字化割合比率は、平均値より低い数値で推移している。④病床利用率は、平均値より低い数値となっている。⑤外来患者1人1日当たり収益は、平均値より低い数値で推移している。⑥入院患者1人1日当たり収益は、平均値より低い数値で推移している。⑦職員給与対医療収益比率は、平均値より低い数値で推移している。⑧材料費対医療収益比率は、平均値より低い数値で推移している。⑨有形固定資産減価償却率は、平均値より低い数値となっている。⑩有形固定資産減価償却率は、平均値より低い数値となっている。

### 2. 老朽化の状況について

病院施設については、昭和49年に旧棟を建設、平成7年度に新棟を増築、旧棟部分は、老朽化等のため修繕が必要な部分が多く見受けられ、耐震指針が基準以下の部分があることから、建替えを予定している。

①有形固定資産減価償却率及び②機械備品減価償却率において、平均値より高い数値となっている。③1床当たり有形固定資産は、平均値よりかなり低い数値であり、更新投資が少ない状況である。

### 全体総括

医療制度の改正等による医師不足等の影響により、平成15年度より経営が悪化し、政策審議会からの提言を受け、平成20年10月に指定管理者制度に移行した。これにより、より効率的な運営に努め、地域医療の提供体制は徐々に整ってきたが、依然として経営健全化への見通しは厳しいものとなっている。

経営状況としては、一般会社からの繰上により黒字化となったものであるが、今後老朽化による医療機器の更新が必要となることや施設の建替えを踏まえた修繕も必要と考える。なお、現指定管理者との協定が平成28年度で満了となることから、その後の経営形態については、市として民間譲渡を自指す方針を固めた。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。